

## 第2次牧之原市総合計画策定に係る 市内団体との意見交換会



**牧之原市**  
MAKINOHARA

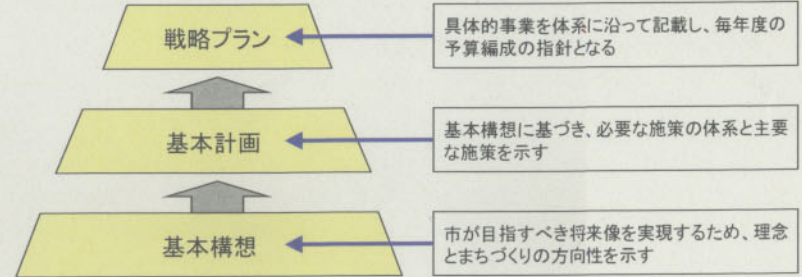
牧之原市政策協働部企画課

## 総合計画とは

牧之原市を『どんなまちにするか』『そのためにどんなことをするか』を総合的・体系的にまとめた『市の全ての計画の基本』となる計画

第1次総合計画（計画期間：平成19年度～27年度）

基本理念 幸福実現都市  
ふれあい ビタミン あいのまち ～うみ・そら・みどりと共に生きる～



2

## 今日の目的

第1次総合計画の策定から6年が経過し、その間に私たちを取り巻く社会経済情勢も大きく変化しました。

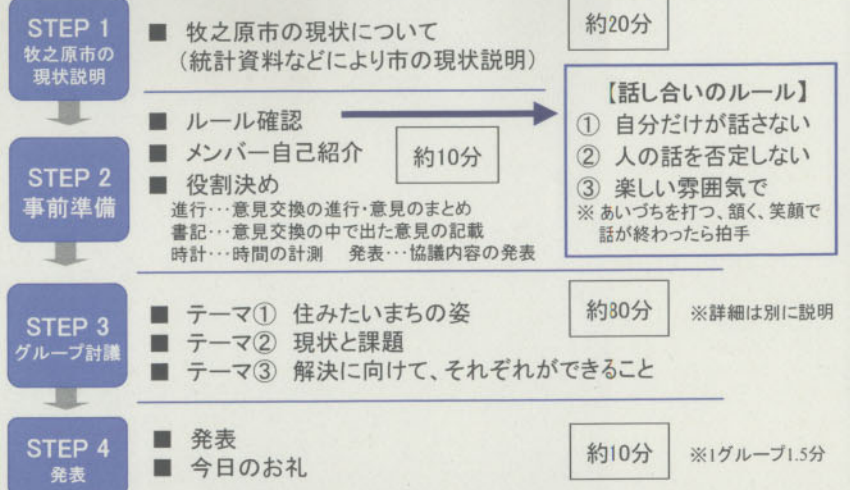
市では、今回「第2次総合計画」を策定するに当たり、市民の皆さんが日頃の生活の中で感じている「**住みたいまちの姿**」や「**牧之原市の現状と課題**」をしっかりと把握し、

その実現や解決に向けて市民、行政、団体、企業などが連携して推進していく「**実効性の高い計画**」を策定するため、本日、意見交換会を開催します。

市からも統計データでみる市の現状などの情報提供をさせていただきますので、率直な御意見をたくさん出してください。よろしくお願いいたします。

3

## グループワークの進め方



4



## 第2次総合計画の策定



5

## 計画の期間

実効性の高い計画とするため計画の期間を見直す  
【第1次】10年(前期5年:後期5年)→【第2次】8年(前期4年:後期4年)

年次	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1次計画	基本構想									
	後期基本計画									
2次計画	準備	策定	基本構想							
			前期基本計画				後期基本計画			
市長 マニフェスト			市長マニフェスト				市長マニフェスト			

社会経済情勢の変化に伴う新たな課題に対応するため、計画策定を1年前倒し。

市長選挙

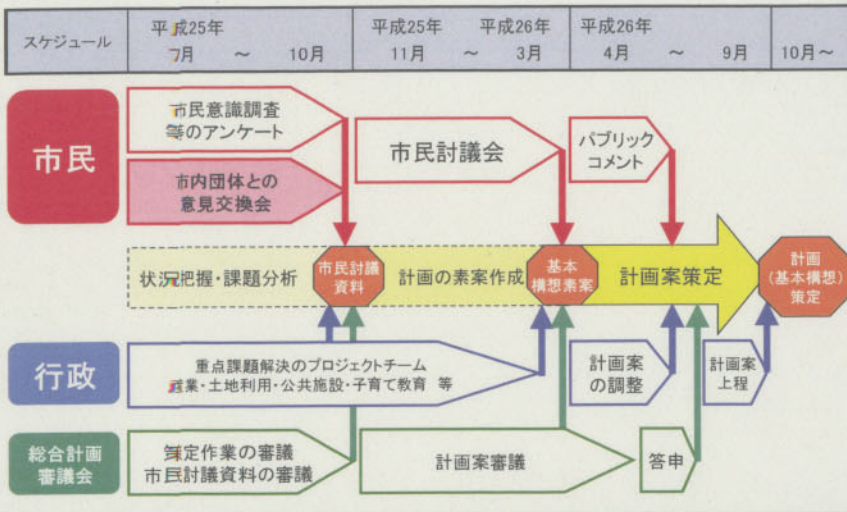
総合計画と市長マニフェストの期間の整合

市長選挙

市長選挙

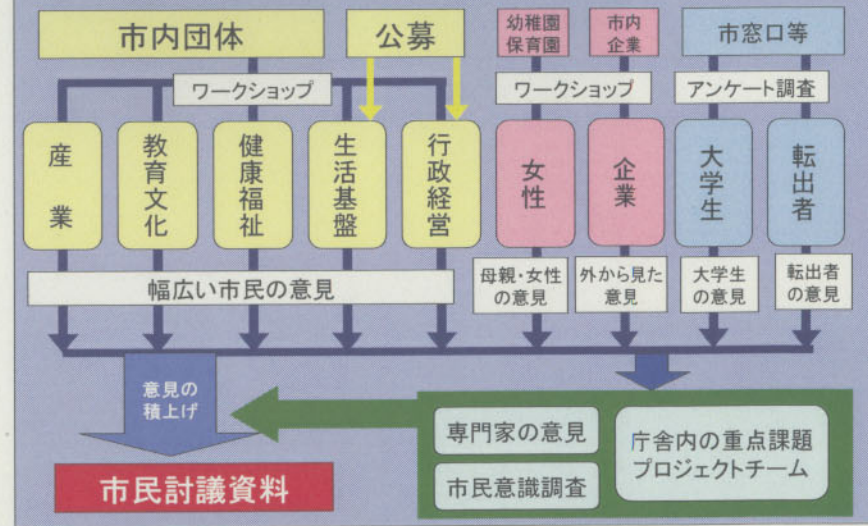
6

## 策定の組織体制



7

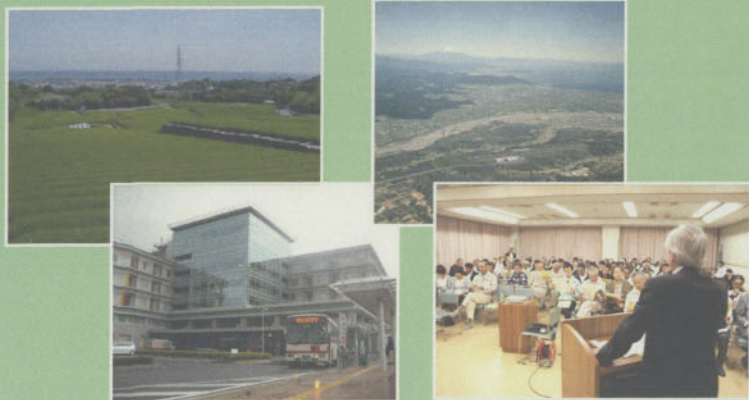
## 市内団体との意見交換会



8



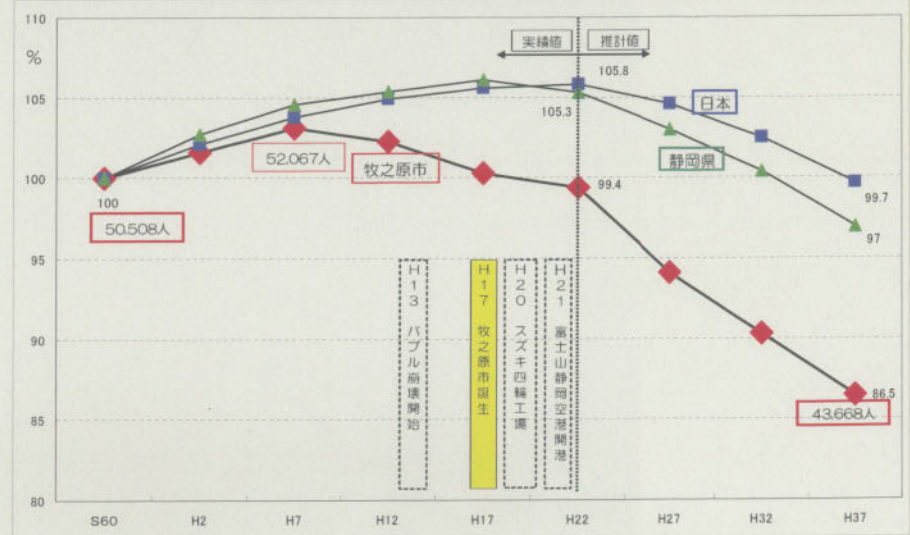
# 統計でみる牧之原市の現状



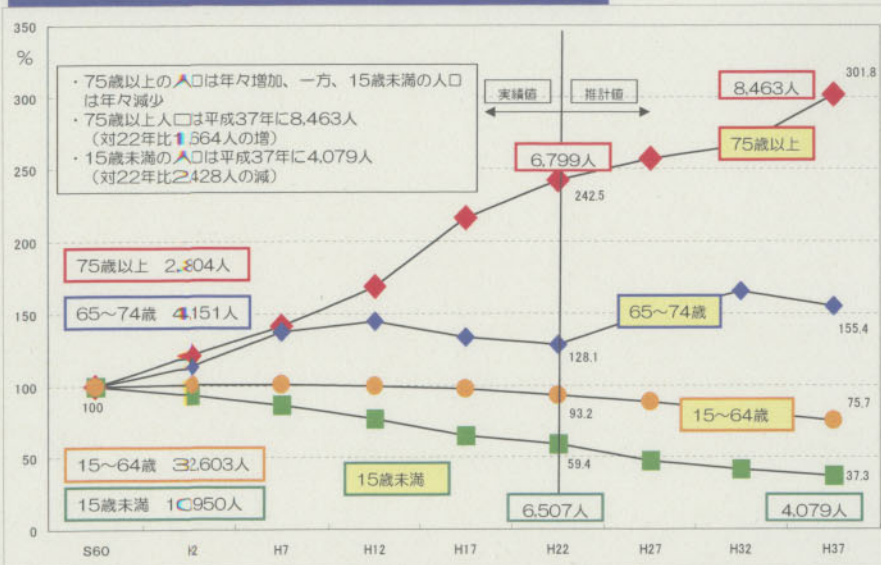
注) 各統計調査などの社会指標から抜粋。県内順位は23市中の順位(23位が最下位)。

# 牧之原市の人口推移状況

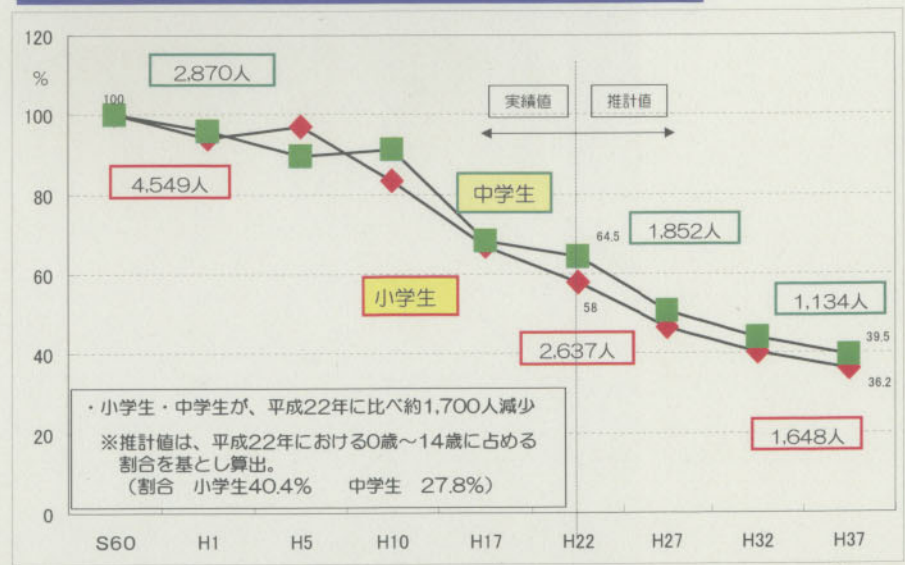
出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所



# 牧之原市の人口推移状況(年齢構成別)

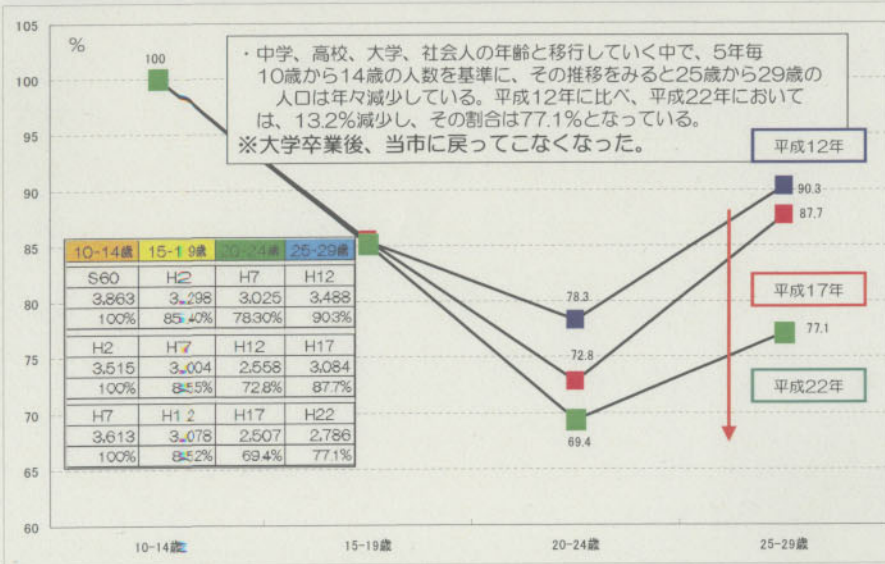


# 牧之原市の人口推移からみる小中学生数の推移





## 牧之原市の人口減少の要因(大学生～社会人)



13

## 世帯・高齢者人口

区分	内容	比率等	県内順位(23市の順位)
世帯	年少(0～14歳)人口割合	13.3%	県内16位
	生産年齢(15～64歳)	61.9%	県内17位
	老年(65歳以上)人口割合	24.7%	県内7位
	一世帯当たり世帯人員(多い順)	3.1人	県内1位
高齢者	高齢者のいる世帯割合	50.0%	県内6位
	ひとり暮らし高齢者率	6.7%	県内22位
介護認定	要支援・要介護認定率	16.8%	県内1位

出典：平成22年国勢調査、平成24年度県高齢者福祉行政の基礎調査  
平成24年度県介護保険状況報告年報

●高齢者と同居している世帯が多いため、1世帯当たりの人員も多い。

14

## 牧之原市周辺の都市基盤整備



15

## 就業人口

分類	業種内訳	比率	県内順位
第1次産業	農業・漁業	13.9%	県内1位
第2次産業	製造業・建設業	39.9%	県内7位
第3次産業	小売業・サービス業等	44.6%	県内22位

昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率	県内順位
52,100人	49,019人	106.3%	県内4位

出典：平成22年国勢調査

16



## 産業

### 農業

出典：2010農林業センサス

分類	業種内訳	比率	県内順位
農家世帯数の割合	世帯数の内、販売農家の割合	12.3%	県内1位
専業農家数の割合	農業収入以外に収入をもたない農家	25.9%	県内8位
第1種兼業農家数の割合	農業収入が全収入の50%以上	29.5%	県内1位
第2種兼業農家数の割合	農業収入が全収入の50%以下	44.6%	県内22位

### 商工業

出典：平成22年工業統計調査、平成19年商業統計調査

分類	業種内訳	金額(百万円)	県内順位
製造品出荷額	市内の事業所で製造した製品の出荷額	742,522	県内7位
年間販売額	市内で売り買いされた物品の販売額	58,757	県内15位

注) 製造品出荷額を人口当たりで算出すると県内2位。

17

## 観光交流

内容	H18	H24	減少率
海水浴	755,000	390,000	△48.34%
花火大会	52,000	48,000	△7.69%
他の海岸イベント	56,000	46,400	△17.14%
子生れ温泉	256,000	255,000	△0.39%
グリーンピア牧之原	118,000	105,000	△11.02%
その他	80,000	75,600	△5.50%
合計	1,316,000	920,000	△30.09%

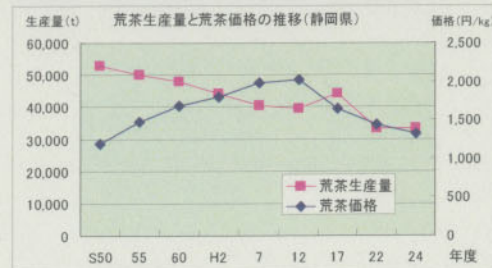
注) 単位は人  
海水浴、花火、イベントは、静波、相良の合計

出典：平成22年度  
静岡県観光交流の動向



19

## お茶



※数字は静岡県

	S50	55	60	H2	7	12	17	22	24	単位
荒茶生産量	53,000	50,100	48,000	44,100	40,300	39,400	44,100	33,400	33,400	トン
荒茶価格	1,192	1,483	1,689	1,802	1,986	2,024	1,650	1,438	1,327	円/kg
生葉価格	209	265	278	294	315	295	249	203	183	円/kg

●生葉、荒茶の価格は年々下落し、それに伴い生産量も減少傾向。

18

## 幼稚園・保育園

平成25年4月1日現在

	施設数	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	入所率
公立保育園	8	740	5	83	104	114	134	131	571	77.1%
私立保育園	2	270	7	38	43	54	47	53	242	89.6%
公立幼稚園	2	225	-	-	-	49	58	70	177	78.6%
私立幼稚園	4	600	-	-	-	181	195	191	567	94.5%

※静波保育園は指定管理。今後、あおぞら、細江を指定管理にする予定

●保育所定員数に対する充足率 80.0% 県内21位 出典：平成24年度県福祉行政報告例

20



## 病院・医療

分類	内容	施設数 人数	人口10万人 当たりの数	県内順位
一般病院数	榛原総合病院	1箇所	2.1箇所	県内21位
一般診療所数	医業、歯科医師業を行う施設で入院施設19人以下のもの	37箇所	76.4箇所	県内8位
医師数	※医療施設のみ	25人	51.6人	県内23位
歯科医師数	※医療施設のみ	17人	35.1人	県内23位
薬剤師数	※薬局、病院、診療所従事者のみ	58人	119.7人	県内17位



出典：厚生労働省 医療施設調査  
出典：厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査

注)平成22年2月に榛原総合病院の指定管理者を特定医療法人沖縄徳洲会が受託したことで緊急医療の拠点が存続。

21

## 市の財政

区分	内容	数値	県内順位
財政規模	市の財政規模の人口1人当たりの決算額	363,056円	県内11位
一般財源等比率	特定財源を抜いた歳入総額の全体比率	76.2%	県内6位
財政力指数	収入(基準財政収入額)を需要(基準財政需要額)で除したもの(H22~H24平均)	0.806	県内17位
実質公債費比率	借入金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化	19.3%	県内23位
地方債現在高	住民1人当たり残高 人口は住民基本台帳(H24.3)	403,355円 (約195.4億円)	県内18位

ただし、

- ・人口の減少(1人当たり7万円の交付税減少)
- ・高齢化(医療費への繰出金の増加)
- ・合併算定替え(普通交付税の算定見直し)

により、市の一般財源が10年後に**11億円減少**する見込み。

出典：平成23年度市町財政の状況

22

## 牧之原市の可能性①



市民協働の推進



大規模工場の集積

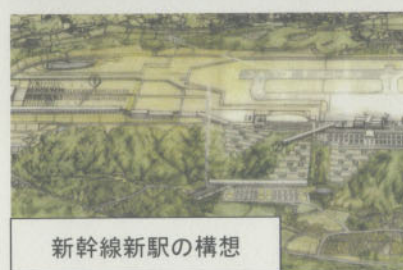


商店街の活力



高齢者施設の充実

## 牧之原市の可能性②



新幹線新駅の構想



再生可能エネルギー



優れた景観



市内企業の研究拠点化